

# 競技注意事項

1. 規則 2016年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
2. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は8時15分までに記録係へ届け出る。
3. 練習
  - ・補助競技場を使用する。
  - ※補助競技場での投てき練習は禁止する。競技場内で指示された時間に行う。
  - ・公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と、男子A 1m60・女子A 1m40の高さで1回の練習を認める。
  - 投てき種目については、審判の指示に従い、1回もしくは2回の練習を認める。
4. 招集
  - ・招集時間は トラック種目は競技開始30分前～20分前まで  
フィールド種目は競技開始60分前～40分前まで
  - ・招集場所は、100mスタート地点側方のスタンド下に設ける。
  - ・競技者は招集時間内に招集をすませ、競技者係の指示に従う。招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
  - ・招集は本人が行う。この時ナンバーカードとスパイクの確認を行う。
  - トラック競技出場者は、招集時に腰ナンバーを受け取り、右腰につける。
  - ※記録会3000mに出場する競技者は、招集時に特別ナンバーカードを受け取り、胸背部につける。
  - ・スパイクのピンの長さは、走高跳・ジャベリックスロー12mm以下、その他は9mm以下とする。
5. ナンバーカード
  - ・競技者は、競技中、胸と背にはっきりと見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または、胸につけるだけでもよい。
  - ・白のB5版の大きさの布に、男子は黒字、女子は赤字で記入する。文字の高さは12cm、文字の幅は5cm以上とし、飾り文字は使用しない。
  - ・トラック種目出場者は、招集所で受け取った腰ナンバーを右腰につける。
  - ・記録会3000mは、特別ナンバーカードを使用する。

## 6. 規格・重量

### ①ハードル種目の規格

	高さ	ハードル間
A男子	0.991m	9.14m
B男子	0.914m	9.14m
A女子	0.762m	8.50m
B女子	0.762m	8.00m

### ②砲丸の重量

A男子	5.000kg
B男子	4.000kg
A女子	4.000kg
B女子	2.721kg

### ③円盤の重量

ABC共通	男子	1.500kg
	女子	1.000kg

## 7. 計測

走幅跳	B男子	5m00	B女子	4m50
	C男子	4m50	C女子	4m00
砲丸投	A男子	11m00	A女子	8m00
	B男子	11m00	B女子	9m00
円盤投	男子	20m00	女子	15m00
ジャベリックスロー	男子	35m00	女子	25m00
走高跳	A男子	1m65-1m70-1m75-1m80-1m85 以降3cm		
	A女子	1m45-1m50-1m55-1m60 以降3cm		

8. 決勝進出 走高跳以外のフィールド種目は3回の試技でトップ8を決定し、さらに3回の試技を行う。  
トラック種目はすべてタイムレース決勝とする。同記録の場合は細部まで読み取り着差をつけ決定する。それでも同じ場合は代表決定レースを行う。

9. 終了タイム 男子C 1500m 5分30秒0 女子C 800m 3分00秒0  
男子B 1500m 5分00秒0 女子B 1500m 5分30秒0  
男子A 3000m 10分00秒0 女子A 3000m 11分00秒0

なお、記録会3000mは、男子11分00秒、女子12分00秒で終了する。

10. その他
- ・ 応援、付き添いはフィールド内や競技場内には入ってはならない。  
(走幅跳ピット前の通路での応援も禁止)
  - ・ スタート合図は、イングリッシュコマンドで行い、不正スタート1回で失格とする。
  - ・ スタート時の応援は禁止する。
  - ・ 応援席最前列の手すり付近での立ち応援は禁止する。
  - ・ 立ち入り禁止区域には入らない。(本部前通行等)
  - ・ メインスタンドへの応援横幕・シート・テント・タープ・のぼり旗の設置を禁止する。
  - ・ 所持品は各自責任を持って管理すること。
  - ・ ゴミは各自持ち帰ること。
  - ・ 中学生競技者としてのマナーを守ること。

※ 選考会終了後、出場確認と申し込みを行う。なお、出場権を得た選手の顧問は、必ず本大会の資格審査・プログラム編成会議(9/24・25日産スタジアム)に出席する。

